



## 岩崎彌太郎生家

～三菱源流の地～ (高知県安芸市)

三菱の創業者である岩崎彌太郎は、1835(天保5)年、現在の高知県安芸市に生まれました。彌太郎、弟の彌之助(三菱第二代社長)、長男の久彌(第三代社長)を育んだ生家は面影をそのままに当時と変わらぬ場所に残され、一般公開されています。

約30坪の建物は当時の中農の標準的構え。生垣に囲まれた敷地には、1795年頃に彌太郎の曾祖父が移築した生家と土蔵があり、当時の暮らしを偲ばせます。また、三菱マークの原型といわれる

「三階菱」や、彌太郎の夢の原点「大八洲の石組」も見ることができます。2015年3月には、彌太郎の銅像が市中心部の江ノ川上公園から生家前へと移設され、自身の生まれ育った住まいを見守り続けています。

岩崎彌太郎生家へは安芸駅から車で約10分。安芸市内を巡れば、ナスやユズ、ちりめんじゃこなど特産品も楽しめます。三菱源流の地に、ぜひ足をお運びください。



岩崎彌太郎

写真提供:三菱史料館

## 岩崎彌太郎生家の見どころ



### 大八洲の石組

庭園に置かれた不思議な石組。これは、幼少時代の彌太郎が、天下雄飛の夢を託し、大八洲=日本列島を模して作ったものといわれています。「東洋の海上王」と呼ばれた彌太郎。その夢は、ここから花開いていきました。



住所: 高知県安芸市井ノ口甲1696  
交通: 高知龍馬空港から安芸駅までは車で40分。高知駅から安芸駅まで「土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線」で50分。安芸駅から車で約10分(駐車場有)。

見学時間: 午前8時～午後5時  
(年中無休)

見学料: 無料

### 岩崎彌太郎像

岩崎彌太郎の生誕150年を記念し、有志にて建立されました。像の高さは3.3メートル、台座の高さ1.1メートル。まるで時代の風を受け止めるかのような、堂々たる彌太郎の姿を見ることができます。



岩崎彌太郎先生



### 三階菱

土蔵の鬼瓦に残る「三階菱」は岩崎家の家紋です。現在の三菱マークであるスリーダイヤは、この三階菱と土佐藩山内家の家紋である「三ツ柏」に由来すると伝えられています。壁にはスリーダイヤも。



地域の環境保全を目的として、安芸市に保有する社有林と、市有林の一部を含めた263haを「三菱商事 千年の森」(通称:彌太郎の森)と名付け、森林保全プロジェクトを推進しています。当プロジェクトを通じて、当社ゆかりの地への感謝と恩返しの意味を込めて将来にわたって森林整備を実施していきます。